

河川事業の再評価概要書

()は、前回再評価時

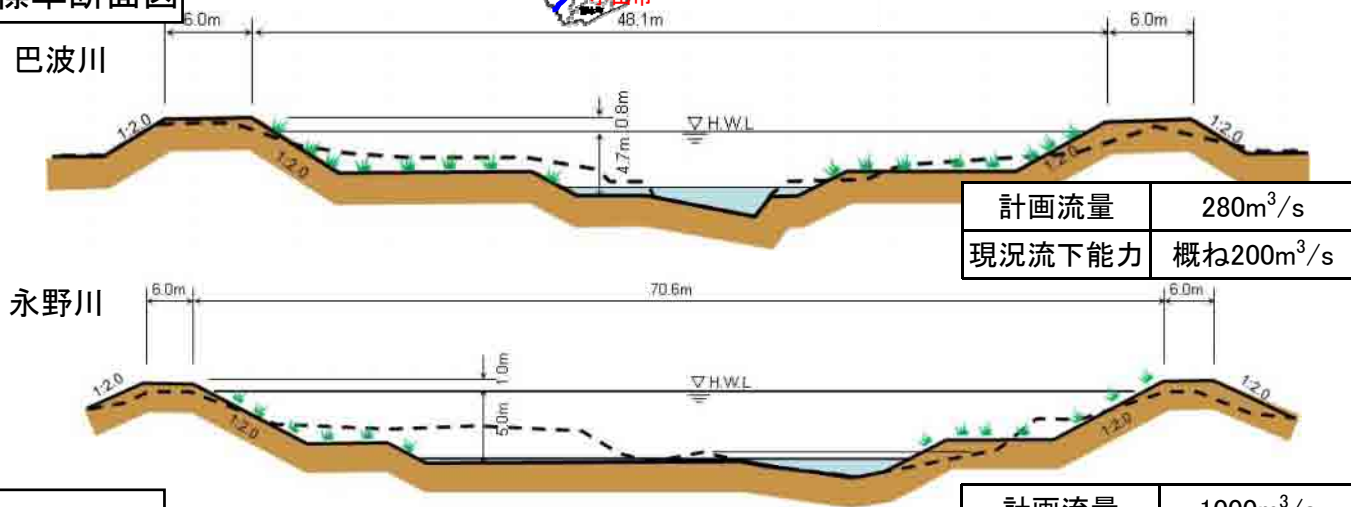
		番 号	106	
		事業主体	栃木県	
事業名	安全な川づくり事業		事業所管課	県土整備部 河川課
路線・河川名	一級河川 <small>うづまがわ</small> 巴波川		事業箇所名	<small>おやまし</small> 小山市
事業区間	<small>おやましおいきり</small> 小山市押切地先～ <small>おやまししむいずみ</small> 小山市下泉地先		事業延長	2,920m (巴波川1,750m、永野川1,170m)
平成9年度事業化			平成9年度用地着手	平成9年度工事着手
事業期間	(H9～H28) H9～H28	事業 進捗 状況	基準年次：【平成23年度末時点】	
[うち用地補償費] 全体事業費	[1.7(1.7)億円] 22.5(22.5)億円		進捗率 [うち用地補償費] [1.1億円] [65%] 既投資事業費 13.3億円 59%	
事業概要				
<p>巴波川は、その源を西方町本城地先に発し、栃木市を南下し、小山市押切にて永野川を合流し、渡良瀬遊水地に流入する一級河川である。</p> <p>支川の永野川は、その源を足尾山地の尾出山<small>おてやま</small>に発し、南東に南下しながら、栃木市を経て、巴波川へ合流する河川である。</p> <p>巴波川及び支川の永野川は、堤防が低く流下能力が不足しており、渡良瀬川の背水の影響も受けるため、豪雨時には宅地や農地に浸水被害が生じている。</p> <p>そこで、築堤等により河川断面の拡大を図り、氾濫を防止し、浸水被害の解消を図る。</p>				
事業を巡る社会経済情勢等の変化				
沿川地域における大きな土地利用の変化はない。				
事業の投資効果				
① 費用対効果分析結果				
		【総便益(B)】	【総費用(C)】	
1) 事業全体	B/C=2.0	55.8億円	28.2億円	[L=2,920m 区間]
2) 残事業	B/C=1.9	15.3億円	8.0億円	[L=1,020m 区間]
② 事業の整備効果等				
整備を図ることにより、宅地、道路や農地の浸水被害が解消される。				
事業の進捗状況等				
① 事業の進捗状況				
巴波川については事業延長1,750mのうち、雷電橋から下泉地先の1,150mの整備が完了している。また、永野川については、事業延長1,170mのうち、落合橋から押切地先の750mの整備が完了している。				
② 今後の事業進捗の見込み				
今後の事業については、計画的に整備が進められる見込みである。				
コスト縮減等				
① コスト縮減方策				
築堤の盛土材については、発生した残土を流用し、工事費の縮減を図っている。				
② 代替案立案等の可能性				
計画区間において、築堤工事が概成していることから、現行計画で事業を進めることが最適である。				
事業の対応方針(案)		現計画で事業を継続する。		

事業箇所(位置図、概要図)

位置図



標準断面図



概要図

